


氏名	樋口 篤志	
フリガナ	ヒグチ アツシ	
英名	Atsushi Higuchi	
職種	准教授	
学位	博士（理学）	
大学院専攻	理学研究科地球生命圏科学専攻	
学部学科	理学部地球科学科（兼任）	
研究室	研究棟 2 階	
TEL/FAX	043-290-3858 / 043-290-3857	
Eメール	higu@faculty.chiba-u.jp (@マークは半角でご入力ください。)	
URL	http://higu.cr.chiba-u.jp/	
学歴	筑波大学第一学群自然学類 - 1994 年卒業 筑波大学大学院博士課程地球科学研究科 - 1999 年修了	
職歴	名古屋大学大気水圏科学研究所 助手/2000 千葉大学環境リモートセンシング研究センター/2005 現職	
所属学会	日本水文科学会、水文・水資源学会、日本地球惑星科学連合、日本地理学会 日本リモートセンシング学会、日本気象学会、米国気象学会	
専門分野	水文学	
研究テーマ	衛星データの複合利用（衛星気候学の創成） 大気陸面相互作用（大陸スケール～観測サイト） 次世代衛星打ち上げに対してのエンドース	
発表論文等	Higuchi, A., T. Hiyama, Y. Fukuta, R. Suzuki, Y. Fukushima (2007): The behavior of a surface temperature/vegetation index (TVX) matrix derived from 10-day composite AVHRR images over monsoon Asia. <i>Hydrological Processes</i> , 21 (9), 1148-1156. Tanaka, H., T. Hiyama, K. Yamamoto, H. Fujinami, T. Shinoda, A. Higuchi, S. Endo, S. Ikeda, W. Li, K. Nakamura (2007): Surface flux and atmospheric boundary layers observations from the LAPS project over the middle of the Huaihe River basins in China. <i>Hydrological Processes</i> , 21 (15), 1997-2008. Yamamoto, K.M., A. Higuchi, K. Nakamura (2006): Vertical and horizontal structure of winter precipitation systems over the Northwestern Pacific using TRMM data. <i>Journal of Geophysical Research-Atmospheres</i> , 111, D1310810.1029/2005JD006412.	
主な著書	樋口篤志 (2008): 5.4. 人工衛星データを用いた中国北部における地表面状態の近年の変化傾向、 pp.82-89、 福嶋義宏・谷口真人編 「黄河の水環境問題～黄河断流を読み解く～」、学報社、pp. 259、ISBN: 978-4-904079-01-0 C3040. Higuchi, A. (2006): Chapter 6: Integrated use of vegetation indices and surface temperature space obtained from Earth observation satellites	

dataset. The textbook of The Fifteen IHP Training Course (International Hydrological Programme) in 2005, "Water and Carbon Cycles in Terrestrial Ecosystems", Ed. T. Hiyama, Hydrospheric Atmospheric Research Center, Nagoya University, Japan, pp. 111-134, ISBN: 4-9980619-6-8.

担当講義

教養展開科目「地球環境とリモートセンシング」(CEReS 全教員) 前期木曜 2 限
理学部地球科学科「気候システム概論」(分担) 前期月曜 2 限
大学院理学研究科・地球生命圏科学専攻地球科学コース
「環境リモートセンシング特論」(分担) 前期木曜 4 限
「環境リモートセンシング A」(分担) 前期火曜 2 限
「環境リモートセンシング A」(分担) 後期火曜 2 限

研究概要

1. 衛星データの複合利用(衛星気候学の創成): 地球観測衛星による 環境モニタリングも長いものでは30年を越え, 近年10年では多種多様 の衛星・センサーが運用されています. 最近ではこれらのデータを 複合利用することで, 地球の様々な“顔”を見出すことを研究テーマとして掲げています. 複合利用をメインとしているため, 大量の衛星データ処理が必要となります. そのため, 衛星データアーカイブ, 大量データ処理に関するスキルが求められます.
2. 大気陸面相互作用(大陸スケール~観測サイト): 1. の中で特に大気陸面相互作用に関する研究に興味があります. スケールはglobal ~地上観測まで扱います. 最近は観測に行っていないが, 過去参加した観測プロジェクトのデータ解析を中心に行っています.